

マルチメディアデイジー教科書を使ってみませんか？

～すべての子どもたちが「わかる」「できる」を実感できるように～



教科書や図書を読むときに、このようなことはありませんか？

- ・文字がにじんだり、ゆらいだり、かすんで見えたりする。
- ・文章を途切れ途切れに読んでしまう。
- ・語句を抜かしたり行をとばしたりして読んでしまう。
- ・本をめくることが難しい。
- ・読むことに一生懸命で、内容の理解までは難しい。 など



マルチメディアデイジー教科書を使うことで、読みの改善や内容の理解、学習意欲の向上などの効果が期待できます。



県教育委員会では、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実の観点から、必要とする児童生徒へのマルチメディアデイジー教科書の円滑な導入に向けた取組を進めています。

また、国が進めるGIGAスクール構想の実現に向けて、校内通信ネットワークや1人1台タブレット端末を整備したところであり、マルチメディアデイジー教科書を利用しやすい環境が構築されつつあります。

本リーフレットは、マルチメディアデイジー教科書の活用が、すべての子どもたちの学びの充実につながることを願って、その使い方や申請方法等について説明したものです。

山口県教育委員会

Q 「デージー」って何ですか？

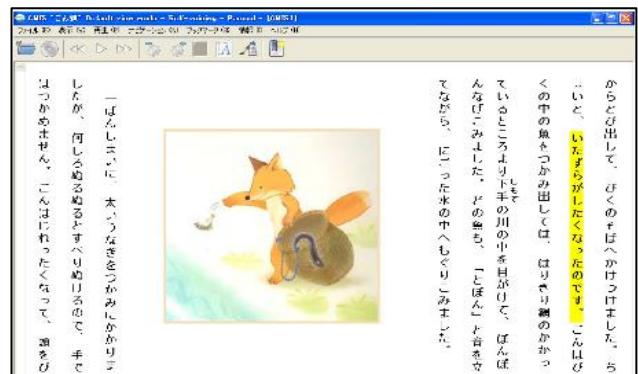
デージー (DAISY) は、「Digital Accessible Information SYstem」の略で、コンピュータやタブレット端末を利用し、文字・音声・画像を同時に再生するデジタル録音図書のことです。視覚障害や発達障害等により、紙の教科書や図書を読むことが困難な児童生徒の学習を支援する有効な教材の一つです。

マルチメディアデージーは以下のような機能があります。

- ・ 音声での読み上げ
- ・ 文字の大きさや色の変更
- ・ 背景色の変更
- ・ 読んでいるところのハイライト表示
- ・ 読み上げる速さの変更
- ・ しおり (ブックマーク) の挿入 など

デージーには「教科書」と「図書」があります！

通常の紙の教科書をマルチメディアデージー化したものが「マルチメディアデージー教科書」であり、法律によって、「拡大教科書」「点字教科書」とともに、障害のある児童生徒のための「教科用特定図書」に位置付けられています。



日本障害者リハビリテーション協会 Web ページより

Q マルチメディアデージー教科書の具体的な使い方や効果は？

活用例

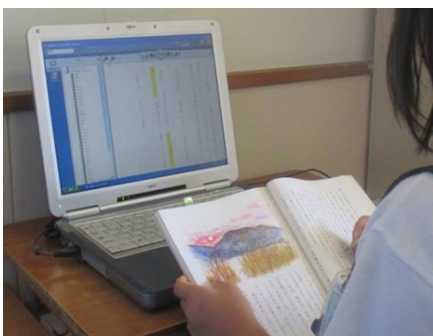
- ・ 最初はデージーの音声を聞き、慣れたら一緒に読む。
- ・ 最初はデージーの音声とともに読み、慣れたら音を消して読む。
- ・ 文節ごとに読んでから、デージーの音声を聞く。
- ・ デージーの音声を聞いて、教科書の内容を理解する。
- ・ 授業の前に家で予習に使う。
- ・ 下の学年の内容の復習をする。 など

効果

- ・ 手本となる読み聞かせがなくても自分で学習できるようになった。
- ・ 音読が苦痛でなくなった。
- ・ 読める漢字が増えた。
- ・ より長い時間、学習に集中できるようになった。
- ・ 学習意欲が増した。 など



日本障害者リハビリテーション協会「活用マニュアル『デージー教科書を使ってみよう!』」より



本県においても、小・中学校の特別支援学級や通級指導教室で活用している事例があります。

左の写真は、通級指導教室で、音読の練習時にデージー教科書を活用している様子です。

Q タブレット端末でマルチメディアデイジー教科書を使えますか？



マルチメディアデイジー教科書は、パソコンに加え、タブレット端末でも活用することができます。タブレット端末の各OSでそれぞれインストールできるアプリケーションには、以下のものがあります。

アプリケーション名	有料・無料	Windows OS	Chrome OS	iPad OS
デイジーポッド	無料	○	×	×
リーダー	有料	○	×	○
ボイスオブデイジー	有料	×	×	○
ChattyBooks	無料	○	○	○
しゃべる教科書	無料	×	×	○

※各アプリケーションのインストール方法や使用方法等については、日本障害者リハビリテーション協会 Web ページ (<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>) 内に詳しい説明があります。

※令和4年4月より、アプリケーションをインストールせずブラウザ上で再生することも可能となっています。



どのようにしてデータを手に入れるのですか？

Q マルチメディアデイジー教科書を利用するには？

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会からデータの提供を受けます。

- ・提供対象は、紙の教科書を読むことに困難のある児童生徒です（必ずしも医学的な診断は必要ではありません）。読むことに困難のない児童生徒が利用することはできません。
- ・当該学年に加え、下の学年の教科書も申請できます。
- ・個人（本人、保護者）に加え、学校の教員等も申請手続きを行うことができます。

新規申請の流れは以下のとおりです。

協会の「申請フォーム」より必要事項を入力する。
<https://sb.jsrpd.jp/register>



登録したメールアドレスに届いたメールのリンクをクリックし、提供システムにログインする。

本人の情報や提供を受けたい教科書の種類等の入力を行い申請する。
→ 承認通知が送られてくる。



マルチメディアデイジー教科書を効果的に活用するために

- マルチメディアデイジー教科書の申請は、個人が直接行うことが基本となりますが、学校での学習で効果的に活用する観点から、申請前に、本人・保護者と学校で具体的な活用の場面や方法等について話し合い、共通理解を図ることをおすすめしています。
- まずは、マルチメディアデイジーを実際に使うことで効果的な活用につながることを期待できます。マルチメディアデイジー教科書を申請する前に、より手軽に利用できるマルチメディアデイジー図書を体験してみることもおすすめします。

→ 次ページに、「マルチメディアデイジー室」を紹介しています。



Q マルチメディアデージーを気軽に試すには？

山口県立山口図書館では、読むことに困難のある方に読書を楽しんでいただくため、館内に「マルチメディアデージー室」を設置するとともに、マルチメディアデージー図書の貸出を行っています。また、山口図書館 Web ページではデージー図書の検索もできます。

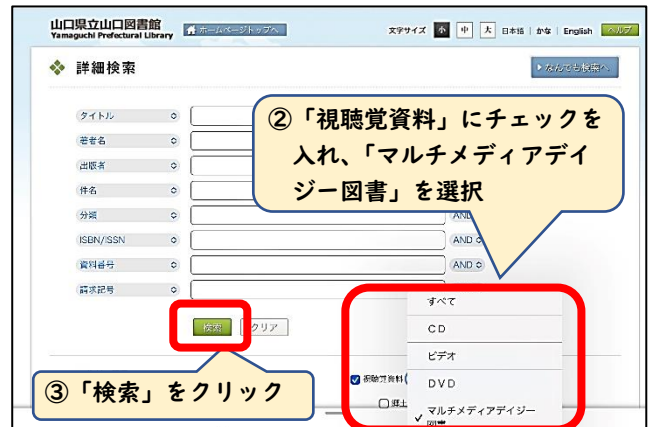


【マルチメディアデージー室】



- ・504タイトルのデージー図書を所蔵しています。
(令和4年3月時点 ※誰でも閲覧できるものと、著作権の関係で障害のある方のみ閲覧できるものがあります)
- ・デージー図書を閲覧できるパソコンを計10台整備しています。
- ・より落ち着いて閲覧できる個室(パーティション)もあります。
- ・デージーの体験会や研修会の会場としても利用可能です。

【デージー図書の検索】



問い合わせ先【デージー教科書】 県教育庁特別支援教育推進室 083-933-4615

各市町教育委員会特別支援教育担当課

県立山口図書館 083-924-2111



【デージー図書】

■ やまぐち総合教育支援サイト
マルチメディアデージーコーナー



■ 山口県立山口図書館
マルチメディアデージー室利用



■ 日本障害者リハビリテーション協会
「エンジョイ・デージー」



■ 山口県立山口図書館
マルチメディアデージー図書貸出

